

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 20 年 1 月 24 日 (2008.1.24)

【公開番号】特開 2002-175680 (P2002-175680A)  
 【公開日】平成 14 年 6 月 21 日 (2002.6.21)  
 【出願番号】特願 2000-371353 (P2000-371353)  
 【国際特許分類】

**G 1 1 B 27/00 (2006.01)**

**G 1 1 B 20/12 (2006.01)**

**H 0 4 N 5/85 (2006.01)**

**H 0 4 N 5/91 (2006.01)**

【F I】

G 1 1 B 27/00 D

G 1 1 B 20/12

H 0 4 N 5/85 Z

H 0 4 N 5/91 N

H 0 4 N 5/91 J

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 12 月 3 日 (2007.12.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】記録装置及び記録方法

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 記録媒体に記録された情報データの再生手順を指示する操作部と、  
 前記操作部により指示された再生手順を示す再生リストを生成する再生リスト生成手段と、

前記再生リストを前記記録媒体に記録する記録手段と、

前記記録媒体に記録されている情報データ中、消去すべき情報データを指示する指示手段と、

前記指示された情報データが前記再生リストにて参照されているか否かを判別し、この判別結果に応じて前記指示された情報データの消去を許可するか否かを制御する制御手段とを備える記録装置。

【請求項 2】 制御手段は、前記指示された情報データが前記再生リストにて参照されている場合には前記指示された情報データの消去を禁止することを特徴とする請求項 1 記載の記録装置。

【請求項 3】 前記再生リスト生成手段は前記操作部より指示された互いに異なる再生手順を示す複数の再生リストを生成し、前記記録手段は前記複数の再生リストを前記記録媒体に記録し、前記制御手段は前記指示された情報データが前記複数の再生リストの何れかにおいて参照されている場合には前記指示された情報データの消去を禁止することを特徴とする請求項 1 記載の記録装置。

【請求項４】 前記再生リスト生成手段は互いに異なる再生手順を示す複数の再生リストを生成し、前記記録手段は前記複数の再生リストを前記記録媒体に記録し、前記制御手段は前記複数の再生リストのうち消去禁止の指示があった再生リストにおいて前記指示された情報データが参照されている場合には前記指示された情報データの消去を禁止し、消去禁止が指示されていない前記再生リストにおいてのみ前記指示された情報データが参照されている場合には前記指示された情報データの消去を許可することを特徴とする請求項１記載の記録装置。

【請求項５】 前記情報データは複数の情報ファイルからなり、前記制御手段は前記情報ファイルのうち一部の範囲の情報データの消去が前記指示手段により指示された場合、前記指示された一部の範囲の情報データが前記再生リストにて参照されている情報データの範囲に含まれるか否かを判別し、含まれている場合に前記指示された一部の範囲の情報データの消去を禁止することを特徴とする請求項１記載の記録装置。

【請求項６】 前記再生リストと前記再生リストに係る前記情報データとの対応を示す再生リストテーブルを生成するテーブル生成手段を備え、前記記録手段は前記再生リストテーブルも前記記録媒体に記録し、前記制御手段は前記再生リストテーブルに基づいて前記指示された情報データが前記再生リストにて参照されているか否かを判別することを特徴とする請求項１記載の記録装置。

【請求項７】 前記再生リストテーブルは、前記再生リストの名称と再生リスト情報へのポインタとを有し、前記再生リスト情報は対応する前記再生リストにて参照される前記情報データを示していることを特徴とする請求項１記載の記録装置。

【請求項８】 記録媒体から情報データを再生する再生手段と、

前記記録媒体に記録されている情報データのうち消去すべき情報データを任意に指示する指示手段と、

前記記録媒体に記録されている情報データの再生手順を示す再生リストに基づいて前記指示手段により指示された情報データの消去を行うか否かを制御する制御手段とを備える再生装置。

【請求項９】 前記制御手段は、前記指示された情報データが前記再生リストにて参照されている場合には前記指示された情報データの消去を禁止し、前記指示された情報データが前記再生リストにて参照されていない場合には前記指示された情報データの消去を許可することを特徴とする請求項８記載の再生装置。

【請求項１０】 前記制御手段は、互いに異なる再生手順を示す複数の前記再生リストの何れかにおいて前記指示された情報データが参照されている場合には前記指示された情報データの消去を禁止することを特徴とする請求項８記載の再生装置。

【請求項１１】 前記制御手段は、互いに異なる前記再生手順を示す複数の前記再生リストのうち、消去禁止の指示があった再生リストにおいて前記指示された情報データが参照されている場合には前記指示された情報データの消去を禁止し、消去禁止が指示されていない再生リストにおいてのみ前記指示された情報データが参照されている場合には前記指示された情報データの消去を許可することを特徴とする請求項９記載の再生装置。

【請求項１２】 前記指示手段は更に、前記複数の再生リストより所望の再生リストを指定して消去禁止を指示することを特徴とする請求項８記載の再生装置。

【請求項１３】 記録媒体から情報データを再生する再生手段と、

前記記録媒体に記録されている情報データのうち、前記記録媒体に記録されている情報データの再生手順を示す再生リストにて参照されている情報データの消去を禁止する制御手段とを備える再生装置。

【請求項１４】 撮像手段と、

前記撮像手段により得られた画像データを符号化する符号化手段と、

前記符号化された画像データを記録媒体に記録する記録手段と、

前記画像データの再生手順を示す再生リストを生成する再生リスト生成手段と、

前記記録媒体に記録された画像データのうち前記再生リストにて参照されている画像データの消去を禁止する制御手段とを備える記録装置。

【請求項 15】 記録媒体から情報データを再生する方法において、

前記記録媒体に記録されている情報データの再生手順を示す再生リストに基づき、前記記録媒体に記録されている情報データのうち指示手段により指示された情報データの消去を行うか否かを制御する再生方法。

【請求項 16】 記録媒体から情報データを再生する方法において、

前記記録媒体に記録されている情報データのうち、前記記録媒体に記録されている情報データの再生手順を示す再生リストにて参照されている情報データの消去を禁止することの特徴とする再生方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は記録装置、再生装置、記録方法、再生方法及び記憶媒体に関し、特に、情報データの再生手順を示す再生リストの処理に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

【課題を解決するための手段】

前述の如き目的を達成するため、本発明は、記録媒体に記録された情報データの再生手順を指示する操作部と、前記操作部により指示された再生手順を示す再生リストを生成する再生リスト生成手段と、前記再生リストを前記記録媒体に記録する記録手段と、前記記録媒体に記録されている情報データ中、消去すべき情報データを指示する指示手段と、前記指示された情報データが前記再生リストにて参照されているか否かを判別し、この判別結果に応じて前記指示された情報データの消去を許可するか否かを制御する制御手段とを備える。